

医療法人 厚生会

虹が丘病院だより



第3号

平成21年 1月



## 基本理念

1. 創立者の精神の継承
2. 患者第一主義の徹底
3. 安心と満足のおよぐ  
最高の医療の提供

### 診療科目

内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、外科、血管外科、リハビリテーション科、肛門科、リウマチ科、神経内科、整形外科、皮膚科、放射線科

## C O N T E N T S

2 P	.....	巻頭言 理事長ごあいさつ
3 P	.....	院長ごあいさつ 看護部長ごあいさつ
4 P	.....	ドクターのお話
5 P	.....	新人職員紹介 サービス向上委員会活動
6 ~ 7 P	.....	虹の会グランドゴルフ大会・HOT 旅行
8 P	.....	演劇の紹介
9 P	.....	部署紹介シリーズ③「医療福祉相談室」 院内看護研究発表会
10 P	.....	外来案内



## 新しい年を 迎えるにあたって

医療法人厚生会  
理事長 松本純隆

年頭にあたり一言ご挨拶させていただきます。

私ども医療法人厚生会は昭和35年9月に道ノ尾病院を開設以来今日まで「患者第一主義」の理念のもと、地域医療にあたってまいりました。昭和62年には内科外科の一般病院「虹が丘病院」。昭和59年に社会福祉法人新生会として知的障害者施設「虹が丘学園」と平成15年に特別養護老人ホーム「望星荘」を開設し、皆様のご協力により運営をしており、道ノ尾グループとして県内でも良質な医療福祉のサービスを提供できるまでになっております。

しかしながら、皆様方ご存知のとおり、日本の社会は大変な混乱の時代に入っております。市場経済優先主義を正義と信じたアメリカンスタンダードが終焉を迎え、サブプライム問題に端を発した世界同時不況の混乱の中、医療も又困難に直面する時代を迎えています。数年来のアメリカに右にならえの医療行政のあり方は、医療をも混乱の渦に巻き込む結果を招き、様々な格差が広がっています。高齢者の行く末に対する不安、若者の自殺の増加、医師看護師不足による急性期医療の混乱...私共の自己努力だけでは解決できない状況です。

医療に求められる成果や結果というものは、非常に個人的な物であり、患者様お一人お一人の、そして地域の願いに応える物でなくてはならないと考えます。私共は今まで沢山の方の支えと励ましを糧に歩んできました。虹が丘病院においては40ch マルチスライスCTや1.5テスラのMRIといった最新の医療機器の充実を計り、循環器科、呼吸器科を中心として各科の優秀な医師を確保し、安心のできる最新の医療を提供できる病院であり続ける努力をしてきました。

そして今年の虹が丘病院においても更なる進歩を目指し、新病棟の建設、既存病棟の改修を行いながらDPCという新しい診療報酬体系への移行を準備しております。工事の際には様々なご不便をおかけするかと存じますがご理解のほどお願いいたします。

今後も皆様と共に、皆様のご支援のもと、皆様に愛される病院であり続けようとして願っています。

# 院長ごあいさつ

川原 史生



新年明けましておめでとうございます。昨年中はいろいろとお世話になり、ありがとうございました。

多くの病院の経営悪化や閉院、医師不足、緊急患者の『たらい回し』、医療訴訟など、昨年も医療に関する話題は暗いものが多かったように思います。これまで病院や医療従事者を一方的に批判するだけだったマスコミも、最近では医療崩壊の危機についても言及するようになりました。これらの報道を毎日のように耳にしている皆さんは、現在の日本の医療に対して危機感を持たれ、信頼が揺らいでいるのではないのでしょうか？

しかし本当に皆さんや私たちをとりまく日本の医療が悪化しているのか、冷静に考えてみる必要があると思います。私は昭和62年に医師となり、20年以上病院勤務医を続けてきましたが、20年前、10年前そして5年前と比べると、日本の医療は非常によくなっていると感じています。次々に新しい治療法や検査法が開発され、医療はどんどん進歩しています。医師や看護師など医療従事者の多くは昔と同様に献身的です（個人的には高圧的な態度をとる医師は激減したと感じています）。インフォームド・コンセントや個人情報保護が重視されるようになり、みなさんの権利が守られるようになりました。病院の環境も改善され、食事もだいぶおいしくなりました。

日本の医療はWHOから世界第一位と評価されています。これからも世界一の日本の医療を守り、さらに発展させないといけません。そのためには医療を提供する側と医療を受ける側とがお互いに信頼し協力していく必要があります。

虹が丘病院は今年も地域医療に貢献するためにさまざまな改善を行っていきます。最高レベルの手術室、透析センターの開設、外来と病棟の環境改善、種々の最新鋭医療機器の導入を予定しています。医師をはじめとする医療従事者を増員し、当院の最大の特徴であるチーム医療をさらに充実させていきます。

今年も一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 看護部長ごあいさつ

山添由紀子



当院の看護部は看護師123名、准看護師10名、看護助手26名、合計159名、4つの病棟、外来、手術室、透析室、検診センターで構成されています。病院の基本理念の下、「思いやり、心配りの目と手」私たちは、安全で優しい看護を目指します。以下2つを平成20年度の目標として日々頑張っています。

1. 患者様を中心とした、安全で安心を抱かせることができる看護の提供
2. 専門職としての能力を啓発し、質の高い看護の提供

教育委員会を中心に勉強会の企画・参加や、施設外の研修会への参加を勧め、自己の能力の研鑽ができるようにサポートを行っています。しかし、急性期の一般病院として、日々の業務に追われ忙しい毎日を送っている中、いかに看護のやりがいを見出せるようになっていくかが大きな課題です。そのためにも長く働いていけるような職場の環境づくりが大切だと考えます。それが患者様のことを一番に考えよ看護の提供につながり、チーム医療の一員としての役割りが果たせると思います。

看護部長という大きな役割りをいただき不安で一杯ですが、皆様の意見を聴きながら明るくやりがいのある看護部になるように頑張っていきたいと思います。



## 「21世紀の国民病」 = C型肝炎

医師（内科 消化器） 増田 淳一

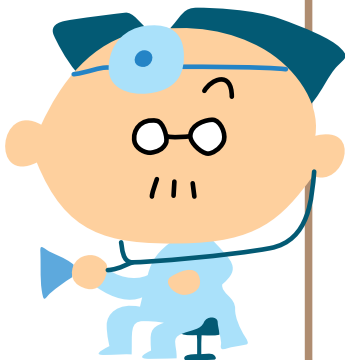
皆さんは「C型肝炎」をご存じでしょうか？最近「テレビ」、「新聞」、「有名人の死」などでこの「C型肝炎」という言葉を時々耳にすることがあると思います。C型肝炎は、C型肝炎ウイルスによって発症し、慢性化すると「肝硬変」「肝がん」へ進行します。肝がんは、毎年3万人を超える人の命を奪っています。実は現在日本には200万人以上のC型肝炎ウイルス感染者がいると推測され、日本人の100人に1～2人がC型肝炎ウイルスに感染しています。C型肝炎はまさに「21世紀の国民病」です。しかし肝臓は悪くなっても症状の出にくい臓器で「沈黙の臓器」とも呼ばれています。自覚症状が出た頃には病状が進んでいることが多いのです。

まずは検査を受けてみるのが大切です。皆さんも是非検査を受けて下さい。検査は特別なものではなく血液検査で可能です。希望があれば主治医や看護師へ問い合わせて下さい。

最近ではC型肝炎の感染が判明しても、早期発見ができればC型肝炎ウイルスを体内から除去することが可能となってきました。C型肝炎ウイルスを体内から除去するためにはインターフェロンという薬剤を使用します。1992年にインターフェロンが保険適用となって以後、わが国では30万人程度がインターフェロン治療を受けたといわれています。当初副作用に悩まされてきたインターフェロンも保険適応からの16年間で様々な製剤が開発され、副作用も軽減してきました。最新のインターフェロンは週一回の投与で一週間効果の持続するものも登場し、仕事をしながら治療を行うことも可能になってきています。

しかし、その高い治療費が問題となり治療をためらっていた患者さんも多かったですとおもいます。そのような患者さんを救うため2008年4月からインターフェロン治療に係る医療費の助成制度が開始となりました。これは患者さん世帯の収入により、その自己負担額を月額1万円、3万円、5万円を上限に設定し、患者さんの経済的負担を軽減する制度です。例えば年収200万円の世帯収入の患者さんであれば、月額どれだけ医療費がかかっても、インターフェロン治療に係る治療費に限っては1万円のみで済みます。この助成は診断書作成医療機関でのみ導入可能ですが当院はその医療機関に認定されております。お気軽にお問い合わせ下さい。

このようにインターフェロン療法が進化してきた現在でも依然としてその効果の少ない、難治性のC型肝炎患者さんもいらっしゃいます。そのような患者さんのために当院では2008年11月より血液浄化療法を使用した新しいC型肝炎ウイルス除去療法を開始しました。これはC型肝炎ウイルスの混じった血液を特殊な膜を通しC型肝炎ウイルスのみを取り除く治療です。2008年12月現在この治療が可能な医療機関は長崎県で当院、長崎大学病院、長崎医療センター（大村）の3カ所のみです。当院ではいち早く最新の治療法を導入しています。何か疑問な点があれば当院消化器内科へお問い合わせ下さい。



# 新人職員紹介

1 所属 2 出身地 3 趣味・特技 4 何か一言



永吉 洋介

(内科 呼吸器科)

- 1 医局
- 2 長崎
- 3 ウィスキー・タンブラー集め・コーヒーカップ集め・読売ジャイアンツの応援
- 4 他の3人の呼吸器科スタッフと共に呼吸器科診療を活性化していきたいと思います。



山口 智子

(看護師)

- 1 看護師
- 2 長崎
- 3 走る事、休みの時は時々走りに行っています。
- 4 よろしくお願ひします。



毛利ひとみ

(看護師)

- 1 外来
- 2 鹿児島県
- 3 ドライブ、温泉
- 4 よろしくお願ひします。



山口 友理

(検査技師)

- 1 検査室
- 2 長崎市
- 3 散歩
- 4 慣れなくて色々にご迷惑をおかけすると思いますが頑張りますのでよろしくお願ひします。

## サービス向上委員会から

虹が丘病院サービス向上委員会は、その名のとおり、患者に対するサービスの向上を図り、患者満足度を高めることを目的として活動しています。病院の各所に意見箱を設置し、患者の皆さんやご家族などからのご意見をいただき、毎月の定例会議で対応策を検討しています。

また、昨年決定した活動テーマは「笑顔であいさつ」。職員は運動のスローガンが書かれたワッペンを胸につけ、常に心がけながら職務についています。いろいろなお叱りの投書もいただきますが、大変うれしい投書もございます。

ご紹介いたします。

### 一言!!

基本方針と理念を目指す心のふれあい、温もりの医療に立ち向かう各部門スタッフチームの皆様方のご活躍と地域医療への万全なる対応に対し、見事な手腕に感服と、大変お世話様になった事、長期に亘ってありがとうございました。私自身にとって感謝、感激の一言！

退院となり夢のようです。ありがとう！

今後もこのような投書をいただけるよう職員一同がんばっていききたいと思います。

10/4 土

糖尿病  
虹の会主催

# 第11回 グラウンド ゴルフ大会



参加者31名（スタッフも含む）思い々にステックを振りました。

ねらうはホールインワン！

残念ながらボールはなかなか思い通りに転がりませんでした。

またそれも楽しさ倍増!!

マイステック マイボール持参で参加される方、いつもライン引きのお手伝いをしてくださる方、替え歌を作って会を盛り上げて下さる方、いつも本当にありがとうございます。

また来年も元気で会いいたしましょう。

## 糖尿病教室のごあんない

- 糖尿病とはいかなる病気か（医師）
- オリエンテーション 糖尿病とは（看護師）
- はかり教室 食べ物の選び方（栄養士）
- 運動療法（理学療法士）
- 尿糖・血糖の自己判定（検査技師）
- 糖尿病の合併症（医師）
- 糖尿病と日常生活（看護師）
- 楽しく食べるコツ（栄養士）
- 経口薬インスリンについて（薬剤師）

上記テーマで毎月開催いたしています。

場所 3階会議室 時間 15:00~16:00

詳しくは外来へお問い合わせ下さいませ。 TEL (095) 856 - 1112

# HOT旅行

毎年恒例のHOT旅行。昨年は10月の4・5日の1泊2日でパールシーリゾートに行ってきました。初日は天気にも恵まれ、風も心地よく、絶好の旅行日和でした。集合の時間には参加者全員が揃い、会話や皆様のご様子から、1年に1度のHOT教室のビッグイベントを心待ちにしているようでした。

長崎から佐世保に向かうバスの中では、皆様ご歓談をされたり、スタッフ含め全員が1人ずつ自己紹介をしたりと、和やかな雰囲気の中で今年の旅はスタートしました。バスに約2時間揺られ、目的地のパールシーリゾートに到着すると、土日ということもあり、観光客や家族連れでお土産店やレストラン、公園は賑わっていました。今回の目玉、パールクイーン号のクルージングの前に、全員揃っての写真撮影を行いました。背景はもちろん九十九島の海と船。海王丸の赤い船体と、青い空がとても印象的なよい思い出の写真となりました。

乗船の時間となり、船に乗り込み出発をすると、風が身体に当たり、少し肌寒く感じました。しかし、それでも皆様船のデッキに出て、九十九島の島々を1つ1つパンフレットで確認しながらクルージングを楽しんでいました。



クルージングの後は、お土産選びです。皆様お留守番をしているご家族の顔を思い浮かべながらでしょうか、楽しそうにお土産を選んでいました。

お土産も買い、一息ついたところで、宿泊をする九十九島観光ホテルに移動です。ホテルに到着し、お風呂を済ませたあと、HOT旅行には欠かせない宴会が始まりました。宴会のメインは大学病院にお勤めの、寺田先生による日舞です。三味線の音に合わせ、傘、扇子、手ぬぐいを用いて踊る寺田先生の演技は、息を止めて見入ってしまうほどの迫力と美しさがありました。

その後、特別ゲストのキャサリンによるビンゴゲーム、普段の練習の成果を発揮できるカラオケ大会が催され、最後は記念撮影にて宴会の幕を閉じました。

皆様と心ゆくまで食事もお話も楽しむ事ができた宴会に、私たちスタッフも楽しく癒される和やかな時間となりました。

1泊2日という短い時間でしたが、患者様ご家族と私たちスタッフが同じ時間を共有し、「患者・病院」という垣根を越えた、「普段の心」で交流することが出来たように思っています。この旅行を通して、私たち病院スタッフは、病気だけでなく患者様の生活も支えていけるような活動をしていきたいと改めて強く感じました。今回の旅行を支援していただきました訪問看護ステーション様、在宅酸素や呼吸器の担当者様、無事に開催する事ができ、スタッフ一同心より感謝しております。本当にありがとうございました。

## 個人情報保護講演会

11月14日に、「個人情報保護講演会」が、みちのおホールにて開催されました。個人情報保護を専門に、幅広く講演やコンサルタント活動をしてられる講師をお招きして、「確かな情報セキュリティ体制を構築するためには」と題して、個人情報保護法の簡単な解説や、個人情報保護の必要性・セキュリティ対策、個人情報漏洩による判例、さらに講演会に先立ち院内で実施した事前アンケートによる職員の疑問にQ&A方式によるわかりやすい解説をしていただきました。講師の

白熱した講演に、出席した職員は皆真剣に耳を傾け、個人情報保護の大切さを改めて感じていたようでした。これまでも、当院では患者様の大切な個人情報の利用目的について院内掲示や入院案内を通してお知らせしてきましたが、職員一人ひとりが業務を通じて個人情報を具体的にどのように取り扱っていけばよいのかまだまだ不明な点が多かったので、その方法がきちんと理解でき、実りのある講演でした。



# 演劇の紹介

医療法人厚生会の中には「みちのおホール」があります。

最大220名を収容できる多目的ホールで、道ノ尾病院のセンター棟の中にあり、職員研修会、医療セミナー、看護研究発表会、各種講演会、音楽会、コンサートなど幅広く活用しています。また、地域の方々や一般にも開放しており、昨年9月には以前当院に勤務なさっていた寺田先生を中心とした劇団による舞台公演を開催いたしました。病院内外からたくさんのお客様にお出でいただき生の演劇のすばらしさを楽しんでいただきました。以下はその演劇集団のご紹介です。



初めまして。私は mame-project (マメ・プロジェクト) 代表、金時豆蔵と申します。豆屋の社長と間違われることがあります。私たちは演劇、舞踊、音楽など、それぞれにさまざまなことをやっていた仲間が集まり、何かおもしろい表現活動をしようと立ち上げた集団です。

この度平成20年9月13日、虹が丘病院様のご厚意を得て、道ノ尾病院内のみちのおホールにて演劇公演・井上ひさし作「父と暮せば」を上演させていただく機会を頂戴しました。この作品は広島の被爆体験を扱った父と娘の物語です。笑いあり、涙あり、井上ひさしさんの上質な戯曲に挑戦することは難しくも楽しい経験であり、何より会場でご観劇いただいた多数の患者様、スタッフの皆様との出会いが私たちにとって本当に素晴らしい財産になりました。またこの舞台が我々 mame-project の企画としては最初の企画でしたので、皆様のご助力を得て大変良い形で初めの一步を踏み出すことができ、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

早速次の公演もございます。この1月11日・12日、NBC ビデオホールにて2nd project として演劇公演「アストライア」を上演いたします。今度は作・演出ともに私、金時豆蔵です。ロシア革命を背景に

繰り広げられる若者たちの愛と葛藤の物語(！)。「父と暮せば」では久しぶりに女性の役を演じた私ですが、今度は「アストライア」という名前の少女を愛する憲兵隊将校の兄と革命家の弟の双子の兄弟を二役演じます。精一杯つとめますので、お誘い合わせの上、是非ご来場下さいませ。また舞台でお会いできますことを楽しみにしております。



## mame - project

2<sup>nd</sup> project

### 演劇公演「アストライア」

作・演出 金時豆蔵

日時 平成21年1月11日(日)

第一回 14時開演

第二回 18時30分開演

平成21年1月12日(月)

第三回 15時開演(開場はいずれも開演30分前)

場所 NBC ビデオホール(長崎電気軌道桜町電停前)

料金 前売り 1500円(高校生以下1200円)

当日 1800円(高校生以下1500円)

お問い合わせ mame-project 制作部

(直通)080 6403 5606

Mail: mame-project@ezweb.ne.jp



シリーズ③

# 部 ■ 署 ■ 紹 ■ 介

## 当院の医療福祉相談室を紹介いたします。

当院の医療福祉相談室には、現在4名の医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が配属され、病院のスタッフと連携を図りながら相談業務に取り組んでいます。

相談体制については基本的に担当制で、入院から外来にいたるまで継続した支援ができるよう心がけ、病気になった時、安心して治療に専念してもらえるように様々な問題解決のお手伝いをしています。具体的には、医療費の軽減手続き、介護保険の手続き、退院後の生活不安、入院や転院についてなど様々です。患者様を中心にご家族、病院が連携を密にしながら、一緒に悩み、考え、解決し、そして笑顔で生活が送れることを目標に毎日がんばっています。現在、新たな取り組みとして「地域医療連携室」の来年中開設を目標に準備を行っています。つねに近隣の病院・医院・施設・福祉と連携をはかり、地域の皆様が安心して利用できる病院であることを目指しています。

3階の、階段に近い場所に「医療福祉相談室」があります。窓が大きく開放的で、リラックスできるお部屋です。ちょっと相談したいな？と思うことがありましたら、皆様お気軽にご相談下さい。



【右から】  
小川：ただ今育児休業中。4月より復帰いたします。  
陣内：20年4月からの新入ソーシャルワーカーです。  
小方：気付くと6年目、もっと頼れるワーカーを目指します。  
種池：20年6月から、小川さんのフォローで仲間入りしました。

平成20年度 虹が丘病院

## 看護研究発表会

平成20年11月15日

みちのおホールにて平成20年度の院内看護研究発表会が開催されました。

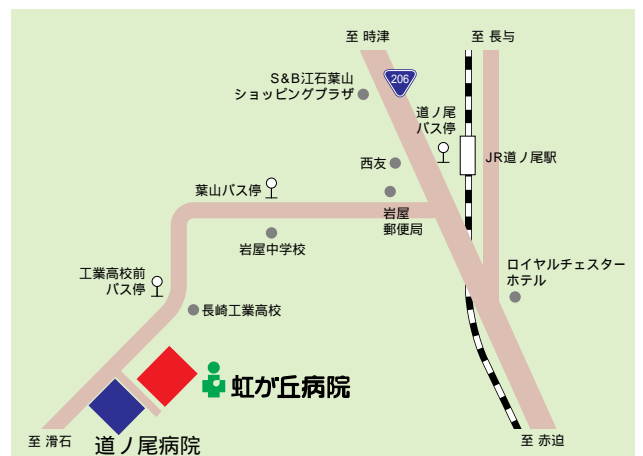
### 研究発表

座長 山本 美智子

1席	内服管理に向けての取り組み ～内服薬チェックシートの作成を試みて～	2F病棟	小川 弘
2席	手術室看護を振り返って ～術後訪問導入によって得たもの～	手術室	相川 紗恵香
3席	高齢患者のHOT導入の退院支援への取り組みについて	3F病棟	中島 裕香
4席	患者が安心して治療を受けるための援助 ～ASO手術患者オリエンテーション用紙を作成して～	5F病棟	池田 清美
5席	在宅療養に向けた生活活動自立に対する指導を試みて	4F病棟	安井 紗也佳

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	初診	永吉 洋介	田代 尚樹	藤田 紀代	天野 秀明	ローテーション (大学)	ローテーション (当院内科・大学)
		循環器 新患	岩本 啓二	迫 稔	伊藤 達郎	伊藤 達郎	岩本 啓二	迫・岩本・伊藤 ローテーション
		呼吸器 新患	永吉 洋介	田代 尚樹	藤田 紀代	天野 秀明	ローテーション (大学)	永吉 洋介
		消化器 新患	宮副・増田 ローテーション	宮副 誠司	増田 淳一	増田 淳一	宮副 誠司	宮副・増田 ローテーション
		糖尿病 新患		山川 賢一				山川 賢一 1・3週
	再来	1診	川原 史生 (循環器)	岩本 啓二 (循環器)	川原 史生 (循環器)	川原 史生 (循環器)	伊藤 達郎 (循環器)	川原 史生 (循環器)
		2診	伊藤 達郎 (循環器)	藤田 紀代 (呼吸器)	迫 稔 (循環器)	迫 稔 (循環器)	迫 稔 (循環器)	田代 尚樹 (呼吸器)
		3診	天野 秀明 (呼吸器)	天野 秀明 (呼吸器)	田代 尚樹 (呼吸器)	永吉 洋介 (呼吸器)	天野 秀明 (呼吸器)	天野 秀明 (呼吸器)
		4診	富永 雅博 (腎臓)	宮副 誠司 (消化器)	藤川 敬太 (大学・リウマチ科)	富永 雅博 (腎臓)	宮副 誠司 (消化器)	岩本啓二/迫 稔 1・3週 2・4週 (循環器)
		5診	山川 賢一 (糖尿病)	山川 賢一 (糖尿病)	山川 賢一 (糖尿病)	増田 淳一 (消化器)	山川 賢一 (糖尿病)	山川 賢一 2・4週 (糖尿病)
	7診	本村 政勝 (大学・神経内科)		岩本 啓二 (循環器)	岩本 啓二 (循環器)			
外科	午前	6診	藤瀬 直樹 (消化器)	能村 正仁 (消化器)	藤瀬 直樹 (消化器)	能村 正仁 (消化器)	西 活央 (血管)	ローテーション (当院外科)
		7診		西 活央 (血管)				
整形外科	午前	7診					ローテーション (大学)	
皮膚科	午前	7診				江石久美子		

月～金	受付時間	8:30～12:00	13:30～17:00
	診療時間	9:00～12:30	14:00～17:30
土	受付時間	8:30～12:00	
	診療時間	9:00～13:00	
休診	土曜日	午後(13時以降)	
	日曜日、祝日、年末年始	12/30～1/3	
	但し急患はこの限りではありません。		



### 交通アクセス

- 長崎駅前バス停より、「虹が丘」行きのバスに乗り約40分。
- 「工業高校前」バス停下車徒歩2分。
- 長崎駅より206号線を時津方面に車で約20分。
- 車で長崎空港より大村ICに乗り、長崎多良見ICまで約50分。
- 長崎多良見ICから長崎バイパスに乗り約30分。

長崎市虹が丘町1番1号 〒852 8055

TEL.095-856-1112 [代表]

FAX.095-857-7400

病院ホームページ [www.nijigaoka.org](http://www.nijigaoka.org)

### 編集後記

毎年恒例である、日本漢字能力検定協会による、世相を最も反映した平成20年の漢字に「変」が選ばれたと発表しました。京都・清水寺の森清範貴主(かんす)が大型の和紙に力強く揮毫(きごう: 知名人が毛筆で書かくこと)したのは皆様もテレビでご覧になったと思います。昨年は、明るい話題として北京オリンピックが開催されました。しかし、アメリカのサブプライムローンに端を発した金融危機が世界中に影響を与えました。日本でもガソリン価格の急上昇、後期高齢者医療制度問題、年金問題、大手自動車・電気業界の事業縮小に伴う、従業員解雇等々全体的には暗い1年であったと思います。人それぞれに感じることはあると思いますが、私的には「変」よりは「暗」「闇」といった方が合っているように感じています。そもそも「変」とは辞書によれば、「1: それまでとは別の状態になる。かわる。かえる。変化・変革・変形・変更・変色・変身・変遷・変動ノ一変・応変・激変・神変・千変・転変・豹変(ひょうへん)・不変。2: 突然起こる異常な出来事。「変乱/異変・凶変・事変・政変・大変・天変地異」を意味します。多角的みれば「変」の選択は的を得ています。そういえば、アメリカ次期大統領であるオバマ氏の選挙時の言葉は「Change: 変化・変革」でした。

さて、今年は「牛」年です。当院においては、新築・改築、DPC導入といった、「変革」の年です。ハード面は変わっても、病院の理念である「患者第一主義」は「不変」です。今年も地域に根差し、病診連携の強化を含めた高度な医療の提供を行います。「虹彩」も新年号で第3号です。今後も中身の「ギュー」と詰まった虹が丘病院だよりを皆様にお届けしていきます。皆様に「モ一夫満足」と云われるように編集委員一同「気合いと心」で頑張ります。